



## 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	759,402	3.8	18,056	37.7	18,674	31.6	6,513	△26.3
26年12月期第3四半期	731,320	4.2	13,114	6.2	14,189	5.7	8,843	△9.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 15,404百万円 (75.7%) 26年12月期第3四半期 8,767百万円 (△29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	29.68	—
26年12月期第3四半期	40.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	675,944	284,296	38.8
26年12月期	702,049	268,318	35.0

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 261,930百万円 26年12月期 245,807百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	16.00	16.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,024,000	2.9	26,000	24.5	27,000	18.6	9,500	△21.2	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	220,282,860 株	26年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	828,270 株	26年12月期	812,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	219,461,070 株	26年12月期3Q	219,475,032 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、雇用・所得環境は着実に改善しましたが、個人消費の回復は緩慢なものとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い中で販売競争が激化するとともに、円安による輸入原材料価格の上昇により収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下でありまして、当社グループは品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「嚴撰100品」を中心とした主力製品の拡販につとめるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進するなど、市場動向に即応した部門別製品施策・営業戦略を推進してまいりました。また、業務用小麦粉の値上げに対応して、原料費の上昇を吸収し高品質で安全・安心な製品を提供するため、7月から一部製品を値上げするとともに規格改定を実施し、品質訴求により市場への浸透をはかりました。これにより、販売単価のアップとともに販売数量の維持拡大によって順調な売上を確保することができました。デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社グループの総力をあげて「ヤマザキベストセレクション」を中心にパン、和洋菓子、米飯、サンドイッチ、調理麺の商品開発に取り組むとともに、店舗での品揃えの充実をはかりました。また、重点管理店を選定し、デイリーヤマザキのリージョンと各工場が一体となって店舗運営の改善を推進するとともに、店舗改装に取り組み既存店の活性化をはかりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,594億2百万円（対前年同期比103.8%）、営業利益は180億56百万円（対前年同期比137.7%）、経常利益は186億74百万円（対前年同期比131.6%）となりました。四半期純利益は65億13百万円（対前年同期比73.7%）で、前期に厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことや、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩による影響で税負担が増加したこともあり前年同期の実績を下回りました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

## ①食パン部門（売上高705億17百万円、対前年同期比100.6%）

食パンは、引き続き主力の「ロイヤルブレッド」を中心に売り場づくりを推進し品質訴求による拡販をはかるとともに、7月以降の価格改定が奏功して販売単価が上昇し、売上増を達成することができました。

## ②菓子パン部門（売上高2,635億50百万円、対前年同期比104.9%）

菓子パンは、取扱拡大を推進した「嚴撰100品」が好調に推移するとともに、高品質・高付加価値の「おいしい菓子パン」シリーズやコンビニエンスストア向けのドーナツが伸長するなど、大幅な売上増となりました。

## ③和菓子部門（売上高502億71百万円、対前年同期比101.8%）

和菓子は、串団子やまんじゅうが順調に推移し、7月から発売した高品質で競争力をもった「山崎謹製」シリーズの寄与もあり、売上は順調でした。

## ④洋菓子部門（売上高945億40百万円、対前年同期比106.6%）

洋菓子は、ラインアップを充実した「プレミアムスイーツ」シリーズが大きく伸長するとともに、品質を向上した「まるごとバナナ」や2個入りケーキが伸長するなど、大幅な売上増となりました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高1,076億37百万円、対前年同期比103.8%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカのコンビニエンスストアチェーンとの取引拡大もあり、売上増となりました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高1,180億39百万円、対前年同期比103.6%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の中国事業が伸長するとともに、ヤマザキ・ナビスコ(株)の「チップスター」や「エアリアル」などのスナックが好調に推移したこともあり、売上増となりました。

以上の結果、食品事業の売上高は7,045億57百万円（対前年同期比104.0%）、営業利益は181億22百万円（対前年同期比133.5%）となりました。

#### <流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「デイリーヤマザキ」加盟店の減少によりロイヤリティ収入が減少しましたが、直営店売上が増加し、営業総収入は477億94百万円（対前年同期比101.3%）となりました。一方では、直営店の増加に伴うコスト増もあり、営業損失は12億26百万円（前年同期は18億75百万円の営業損失）となりました。

#### <その他事業>

その他事業につきましては、売上高は70億50百万円（対前年同期比102.0%）、営業利益は7億67百万円（対前年同期比85.7%）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,759億44百万円で、前連結会計年度末に対して261億4百万円減少しました。流動資産は2,367億85百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して228億49百万円減少しました。固定資産は4,391億59百万円で、投資有価証券が増加しましたが、税制改正に伴う法定実効税率引き下げ等による繰延税金資産の減少もあり、前連結会計年度末に対して32億55百万円減少しました。負債合計は3,916億47百万円で、前連結会計年度末に対して借入金の返済や退職給付会計基準の改正に伴う退職給付に係る負債の減少等もあり420億82百万円減少しました。純資産は2,842億96百万円で、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に対し159億77百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は38.8%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、好調な企業収益が持続し、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、個人消費が持ち直していくことが期待されます。

当業界にありましては、小麦粉、卵、油脂などの原料価格の上昇もあり、収益環境の厳しさが続くことが予測されます。

このような状況下にあります、当社は、引き続き品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の取扱拡大をはかるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進するなど、営業・生産が一体となって部門別製品施策・営業戦略を推進し、着実な売上拡大をめざしてまいります。

さらに、生命の道の教えと「2本立ての5S」によって、部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」に徹し、新しい価値と新しい需要を創造し、所期の目標達成をめざして努力してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第 26 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 25 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第 35 項本文及び退職給付適用指針第 67 項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第 37 項に定める経過的な取扱いに従って、当第 3 四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が 222 百万円増加し、退職給付に係る負債が 6,347 百万円減少するとともに、利益剰余金が 4,340 百万円増加しております。なお、当第 3 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する法律」が平成 27 年 3 月 31 日に公布されたことに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成 28 年 1 月 1 日以降解消されるものに限る）に使用した法定実効税率は、前連結会計年度の 35.4% から、回収又は支払が見込まれる期間が平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までのものは 32.9%、平成 29 年 1 月 1 日以降のものについては 32.1% にそれぞれ変更されております。

この結果、繰延税金資産の純額が 2,163 百万円減少し、当連結会計年度に計上された法人税等が 2,366 百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	115,879	120,549
受取手形及び売掛金	105,471	80,750
商品及び製品	11,479	11,160
仕掛品	727	1,070
原材料及び貯蔵品	9,889	9,243
繰延税金資産	3,523	3,110
その他	13,116	11,501
貸倒引当金	△452	△601
流動資産合計	259,634	236,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	344,178	346,855
減価償却累計額	△257,802	△262,568
建物及び構築物(純額)	86,375	84,286
機械装置及び運搬具	447,290	455,022
減価償却累計額	△375,312	△383,652
機械装置及び運搬具(純額)	71,977	71,369
工具、器具及び備品	27,192	27,461
減価償却累計額	△23,573	△23,609
工具、器具及び備品(純額)	3,619	3,852
土地	116,068	116,257
リース資産	29,819	23,539
減価償却累計額	△17,921	△13,842
リース資産(純額)	11,897	9,697
建設仮勘定	5,816	9,232
有形固定資産合計	295,754	294,696
無形固定資産		
のれん	14,880	13,930
その他	12,107	10,527
無形固定資産合計	26,988	24,458
投資その他の資産		
投資有価証券	54,479	64,340
長期貸付金	551	467
退職給付に係る資産	271	490
繰延税金資産	32,059	23,922
その他	34,932	33,369
貸倒引当金	△2,623	△2,586
投資その他の資産合計	119,672	120,004
固定資産合計	442,415	439,159
資産合計	702,049	675,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,378	70,437
短期借入金	61,340	61,526
リース債務	4,568	3,882
1年内償還予定の社債	1,374	1,476
未払法人税等	7,655	4,621
未払費用	37,489	32,453
賞与引当金	4,108	12,174
販売促進引当金	633	459
店舗閉鎖損失引当金	10	1
資産除去債務	69	56
その他	43,721	31,920
流動負債合計	240,350	219,009
固定負債		
社債	2,271	900
長期借入金	53,695	42,788
リース債務	7,818	6,242
役員退職慰労引当金	3,513	3,556
環境対策引当金	238	232
退職給付に係る負債	111,589	104,960
資産除去債務	4,268	4,221
その他	9,984	9,736
固定負債合計	193,380	172,638
負債合計	433,730	391,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	228,556	235,898
自己株式	△826	△859
株主資本合計	248,420	255,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,126	23,624
繰延ヘッジ損益	18	△5
土地再評価差額金	44	81
為替換算調整勘定	△185	223
退職給付に係る調整累計額	△18,616	△17,722
その他の包括利益累計額合計	△2,613	6,199
少数株主持分	22,511	22,366
純資産合計	268,318	284,296
負債純資産合計	702,049	675,944



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	731,320	759,402
売上原価	470,245	488,080
売上総利益	261,075	271,322
販売費及び一般管理費	247,960	253,265
営業利益	13,114	18,056
営業外収益		
受取利息	97	106
受取配当金	562	548
固定資産賃貸料	433	433
持分法による投資利益	236	39
雑収入	1,153	787
営業外収益合計	2,483	1,916
営業外費用		
支払利息	1,069	995
雑損失	338	302
営業外費用合計	1,408	1,298
経常利益	14,189	18,674
特別利益		
固定資産売却益	34	57
投資有価証券売却益	640	227
厚生年金基金代行返上益	9,614	—
その他	19	—
特別利益合計	10,308	285
特別損失		
固定資産除売却損	1,342	1,099
減損損失	782	548
災害による損失	825	—
のれん償却額	1,544	—
その他	845	161
特別損失合計	5,339	1,809
税金等調整前四半期純利益	19,158	17,150
法人税等	10,373	10,651
少数株主損益調整前四半期純利益	8,785	6,498
少数株主損失(△)	△57	△14
四半期純利益	8,843	6,513

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,785	6,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	7,515
繰延ヘッジ損益	△0	△21
為替換算調整勘定	10	361
退職給付に係る調整額	—	1,014
持分法適用会社に対する持分相当額	12	35
その他の包括利益合計	△18	8,905
四半期包括利益	8,767	15,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,759	15,326
少数株主に係る四半期包括利益	7	78

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	677,221	47,187	6,911	731,320	—	731,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,275	4,994	21,150	29,420	△29,420	—
計	680,497	52,181	28,062	760,740	△29,420	731,320
セグメント利益又は損失(△)	13,572	△1,875	895	12,592	522	13,114

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額522百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	704,557	47,794	7,050	759,402	—	759,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,755	5,386	22,372	31,514	△31,514	—
計	708,313	53,181	29,422	790,917	△31,514	759,402
セグメント利益又は損失(△)	18,122	△1,226	767	17,664	392	18,056

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額392百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	70,129	9.6%	70,517	9.3%	387	100.6%
	菓 子 パ ン	251,347	34.3	263,550	34.7	12,203	104.9
	和 菓 子	49,397	6.8	50,271	6.6	873	101.8
	洋 菓 子	88,690	12.1	94,540	12.5	5,850	106.6
	調理パン・米飯類	103,734	14.2	107,637	14.2	3,903	103.8
	製菓・米菓・その他商品類	113,922	15.6	118,039	15.5	4,116	103.6
	食 品 事 業 計	677,221	92.6	704,557	92.8	27,336	104.0
	流 通 事 業	47,187	6.5	47,794	6.3	607	101.3
	そ の 他 事 業	6,911	0.9	7,050	0.9	138	102.0
	合 計	731,320	100.0	759,402	100.0	28,082	103.8

## (2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	72,142	73,186	1,043	1.4%	△ 866	△ 696	169	—%
(株)サンデリカ	70,896	77,799	6,903	9.7	1,433	1,657	224	15.6
ヤマザキ・ナビスコ(株)	26,359	28,972	2,613	9.9	1,672	2,356	684	40.9
(株)ヴィ・ド・フランス	24,176	24,893	717	3.0	349	667	317	91.0
(株)東ハト	18,311	17,959	△ 352	△ 1.9	698	100	△ 598	△ 85.7

## (3) 平成27年12月期第3四半期の単体業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

## ① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	533,631	3.9	12,551	45.9	14,476	32.4	5,940	25.3
26年12月期第3四半期	513,840	6.7	8,604	△2.3	10,937	△2.9	4,741	△18.1

## ② 単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
27年12月期第3四半期	505,295		258,510	
26年12月期	525,106		244,668	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品 種 別	前第3四半期 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)		当第3四半期 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	69,503	13.5%	69,908	13.1%	404	100.6%
菓子パン	235,391	45.8	245,317	46.0	9,926	104.2
和菓子	48,907	9.5	49,739	9.3	831	101.7
洋菓子	59,070	11.5	64,677	12.1	5,607	109.5
調理パン・米飯類	25,762	5.0	27,578	5.2	1,816	107.0
製菓・米菓・その他商品類	27,385	5.3	28,778	5.4	1,392	105.1
小計	466,020	90.6	485,999	91.1	19,978	104.3
デイリーヤマザキ事業	52,181	10.2	53,181	10.0	999	101.9
内部消去	△4,361	△0.8	△5,548	△1.1	△1,187	—
合計	513,840	100.0	533,631	100.0	19,790	103.9

## (5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	平成26年 第3四半期		平成27年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	10,480	2.2	13,777	2.8	3,297	31.5
デイリーヤマザキ事業	△1,875	△3.6	△1,226	△2.3	649	—
合計	8,604	1.7	12,551	2.4	3,947	45.9

## &lt;山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳&gt;

(単位: 百万円)

	平成26年 第3四半期		平成27年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	147,071	31.6	153,170	31.5	6,098	4.1	売上高の増加 93億円 原材料費の増加 ▲17億円 労務費の増加 ▲11億円 経費の減少 2億円 償却費の減少 4億円 仕入品の増加等 ▲10億円
販売費及び一般管理費	136,591	29.3	139,392	28.7	2,800	2.1	人件費の増加 ▲12億円 経費の増加 ▲23億円 償却費の減少 7億円

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。